



輝け！北っ子！

2年副担任（講師）高橋萌先生 ありがとうございました ～お別れインタビュー～

今年度、主として2年生の副担任として活躍していただいていた高橋萌先生が今年度末で退職になります。講師という立場上、1年ごとの勤務契約となり、次年度は岩手県の新採用教員としてスタートを切ることが決まっています。本来なら、離任式で転退職される先生方と一緒にあいさつをいただければと思っていたのですが、遠距離の引越しや新年度の準備等があり、離任式への参加ができません。そこで、本日の昼の放送で離任のあいさつをしていただきました。



本校には昨年度途中から約2年間、お勤めいただきました。2年生の副担任としてはもちろん、他の学年の書写や日本語指導、担任の先生がいないときの対応など幅広くご活躍いただきました。

本当にこれまでありがとうございました。萌先生の思いをインタビュー形式で紹介します。

Q：北小にきて思い出に残っていることを教えてください。

A：2年生だけでなく、書写や担任の先生がいない時など、色々な学級の子どもたちと勉強したり関わったりすることができたことです。廊下ですれ違ったときなど「めぐみ先生！！」と声を掛けてもらったり、一緒に遊んだりすることができてうれしかったです。

Q：北小の子どもたちの「よさ」はどんなところだと思いますか。

A：「こうしたらもっといいんじゃないかな。」と思ったことを行動に移すことができるところが北小の子どもたちのよさだと感じています。静かに黙々と清掃できる場所も素晴らしいですね。自信をもって、自分のよさや強みを伸ばしていきましょう。

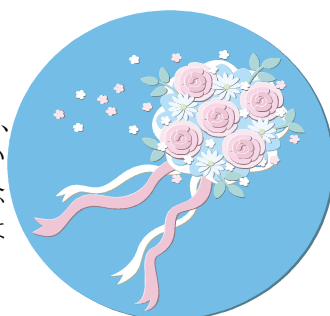
Q：子どもたちへのメッセージをお願いします。

A：2年間、全ての学年の学級に行きました。皆さんと一緒に勉強したりいろいろなお話しをしたりすることができて、すてきな思い出を作ることができました。

4月からは岩手県内の小学校で先生として働きます。皆さんとなかなか会えなくなるのは寂しいですが、岩手県から応援しています。

Q：保護者の皆さんへお伝えしたいことを聞かせてください。

A：2年間大変お世話になりました。授業や廊下ですれ違ったときなど、いつも明るく声を掛けてくれた子どもたちからたくさんの元気をもらいました。4月から子どもたちのがんばりを間近で見ることができず残念ですが、これからも応援しています。また、どこかでお会いした際にはどうぞよろしくをお願いします。



ちょっといい話 ～感謝の心～

22日朝、地区の方から学校にお電話をいただきました。電話の内容は・・・「感動した。とてもうれしかった。」というものでした。

感動した中身とは、登校班での出来事でした。いつものように見守り隊の活動をしていると、いつもは朝のあいさつをしてそのまま登校する、登校班の中の6年生が22日の朝は立ち止まり「6年間 見守っていただきありがとうございました。」

とお礼を述べてくれた、というのです。

感謝の心が伝わり、やさしさが広がった出来事だったように思っています。感謝の心を持ち、そして、それを表現して伝える。なかなかできそうでできないことです。話を聞いた私もとても幸せな気持ちになりました。